ISP



BOTANICALS



Vincience
ACTIVES

D'Orientine™ S

D'Orientine™ S

アンチ・リンクル効果が臨床的に証明されたナツメヤシの種子エキスです。老化やシワの原因となる環境ストレスから肌を守るフリーラジカルスカベンジャーとしての特性を持ちます。

A 製品詳細

B アンチ・リンクル効果

C アンチ・エイジング効果

D 技術情報

D'Orientine™ S

A

詳細

- 定義
- 構成
- 特性

定義

D’Orientine Sはナツメヤシ種子から抽出した特許取得済みの植物由来の有効成分です。



D’Orientine Sは以下の特性を持ちます

- アンチ･リンクル効果
- アンチ･エイジング効果(DHEA様＆抗酸化特性）

ナツメヤシから抽出した成分にはユニークな特性があります。

Composition構成

D’ Orientine Sは、**“西アジアの生命の源”**：7つの化合物の相乗効果で老化のサインを遅らせます。

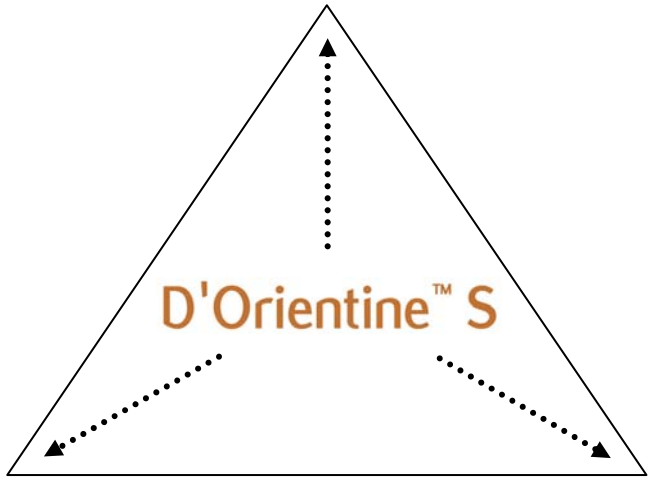
植物ステロール	バリア機能
植物ステロイド	ホルモン様活性作用
イソフラボン	アンチエイジング
ウルソール酸	再生作用
ポリコサノール	神経免疫システム
トコトリエノール	抗酸化
ビタミンA	抗酸化



特性

皮脂の過酸化: **-65%**
Mn SOD活性: **+66%**
カタラーゼ活性: **+85%**

抗酸化



アンチ･エイジング

コラーゲンI合成: **+28%**
DHEA様活性作用

アンチ･リンクル

顔面表皮全体のシワ: **-27.6%**
シワの深さ: **-3.52%**
ボランティア被験者の満足度: **+60%**

D'Orientine™ S

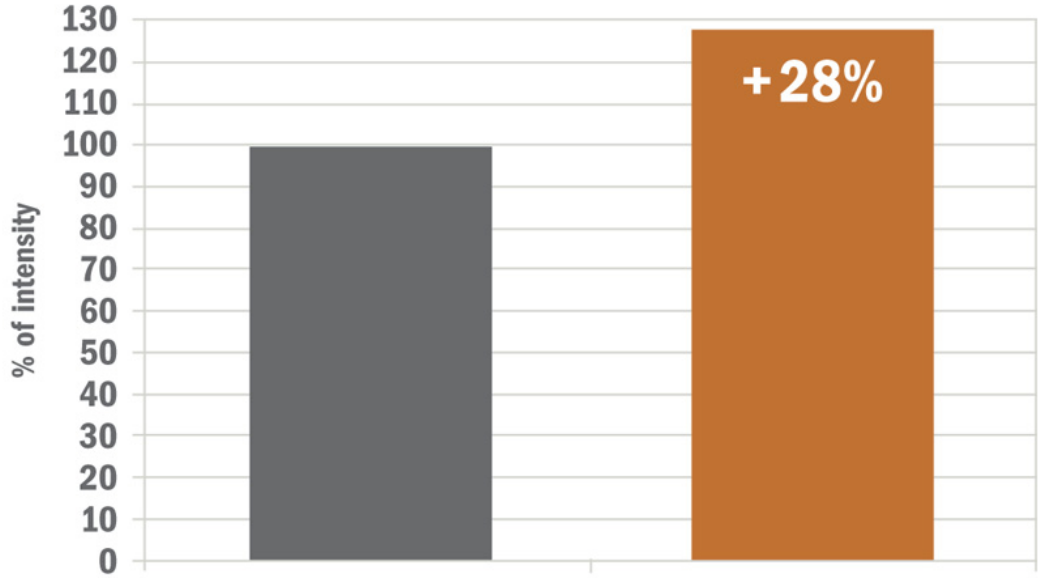


D'Orientine™ S

B

アンチ･エイジング、アンチ･リンクル　コラーゲンI合成

細胞培養:ヒト線維芽細胞　**塗布製品:**1%のD’ Orientine S
塗布時間:24時間　**評価:**免疫ブロッティング





111 kDa

Control (A)

D’ORIENTINE S (B)

D’ Orientine Sはコラーゲンの合成を高め、アンチ･リンクル特性を発揮します。

ISP Vincience

アンチ・リンクル効果 臨床写真

試験方法：ダブルブラインド臨床テスト

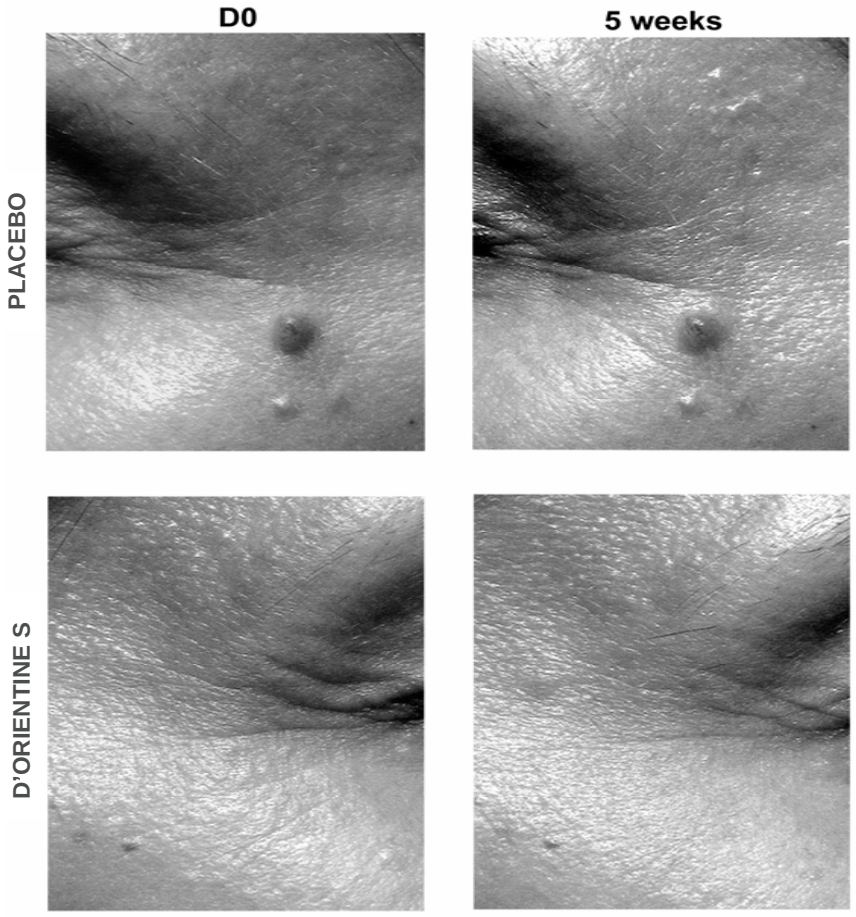
対象：46歳から58歳の10人の健康な女性ボランィア被験者

塗布製品：2.5%のD’ Orientine S

塗布箇所：目の周辺

塗布時間：5週間

評価：写真、シリコンレプリカ、統計分析



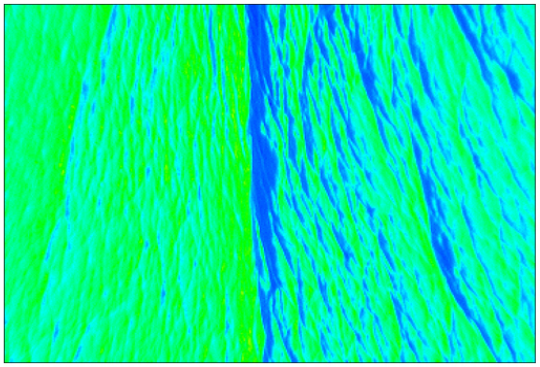
アンチ・リンクル効果　シリコンレプリカ試験結果&臨床評価

1. シリコンレプリカ結果

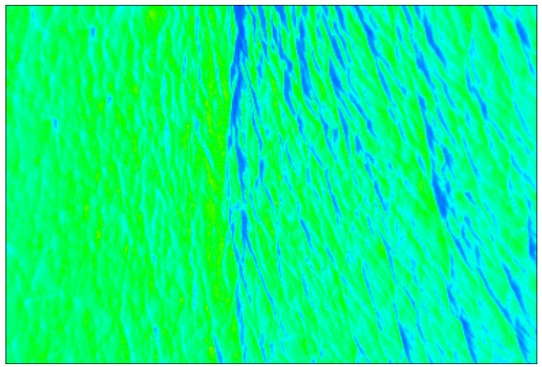
	プラセボ			Dorientine S			Wilcoxon D33-D0
	D0	D33	%/D0	D0	D33	%/D0	
Total surface (mm²)	16.32	15.52	**-4.88**	16.87	12.21	**-27.6**	P=0.038*
Depth (mm)	92.6	97	**4.75**	93.8	90.5	**-3.52**	P=0.0231*

* Significant

Before



After



2. 臨床評価

D’Orientine Sを塗布したサイドに **60%**の改善が見られました。

D'Orientine™ S

C

アンチ・リンクル
効果

- DHEA様活性　24時間後
- DHEA様活性　5日目
- 抗酸化作用：SOD活性
- 抗酸化作用：カタラーゼ活性
- 抗酸化作用：皮脂過酸化

アンチ・エイジング効果　DHEA様活性　24時間後

培養モデル：*ex-vivo*人皮膚

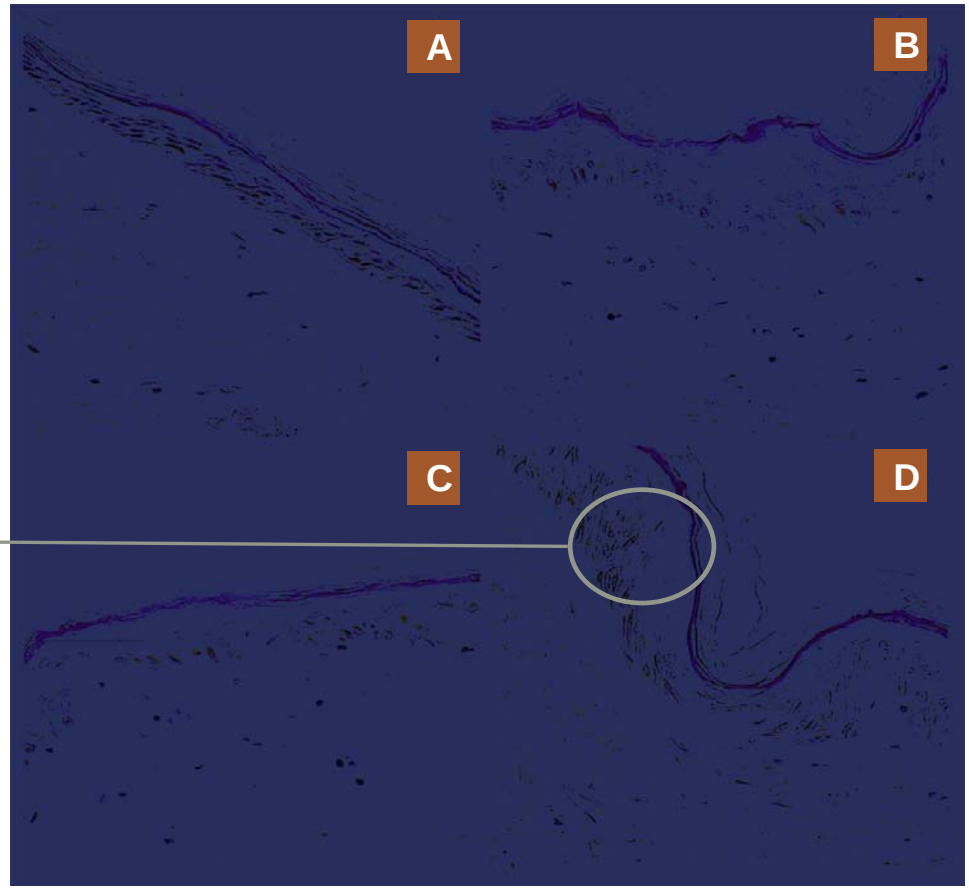
塗布製品：プラセボクリーム、1%のDHEA、2.5% のD’ Orientnine S

塗布時間：24時間

評価：H&E染色

A, B: skin treated with placebo
C: skin treated with DHEA
D: skin treated with D'Orientine S

ストレスサインの減少
（↘浮腫　↘クリマチン凝縮　↘アポトーシス）

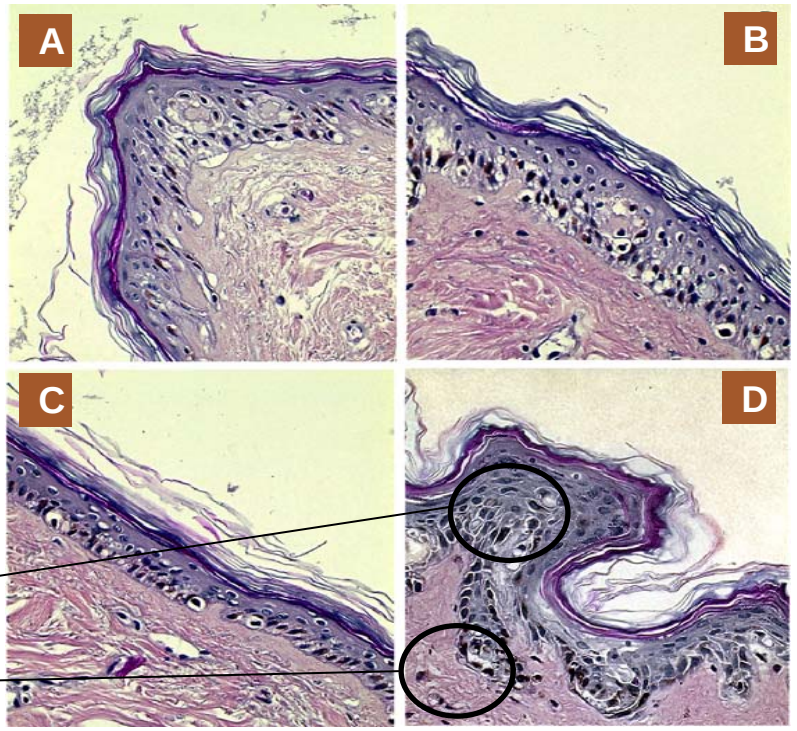


D’ Orientine Sは細胞ストレスから皮膚を守ります。この効果はDHEAよりもより効果があります。

アンチ・エイジング効果　DHEA様活性　５日後

培養モデル：ex-vivoヒト皮膚
塗布製品：プラセボクリーム、1%のDHEA
塗布時間：５日間
評価：H&E染色

A, B: skin treated with placebo
C: skin treated with DHEA
D: skin treated with D'Orientine S



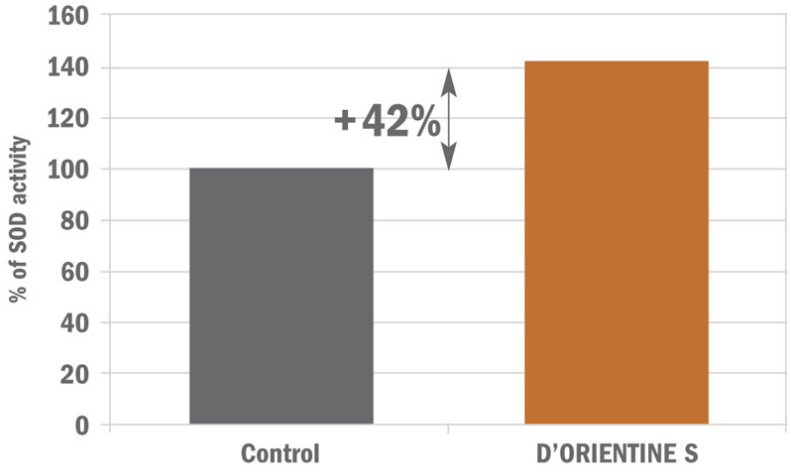
ストレスサインの減少（ 浮腫 、クリマチン凝縮、アポーシス）

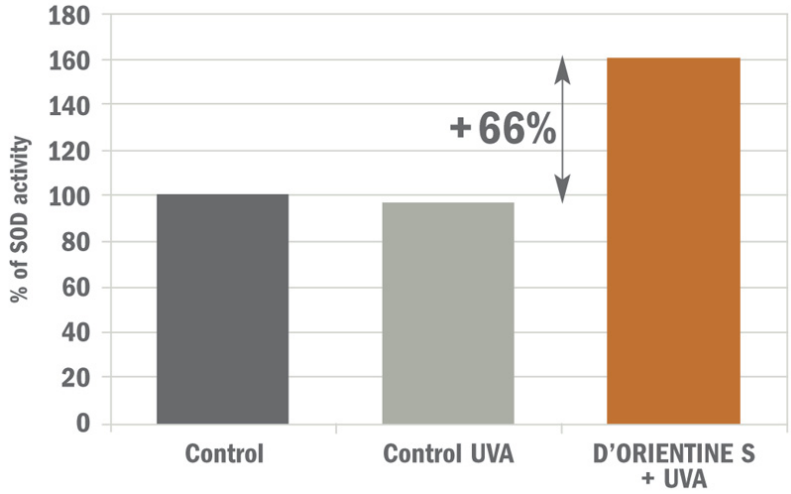
真皮ーより密度が高い

DHEAは皮膚の外観を改善しますが、ストレスのサインや細胞劣化は５日間残ります。
D’ Orientine Sで処理された皮膚は、細胞のダメージやストレスがより少なく従来の構造を保ちます。

アンチ・エイジング効果　抗酸化：SOD活性

細胞培養：ヒト線維芽細胞　**塗布製品：**1%のD’ Orientine S
塗布時間：24時間　**紫外線照射：**4J/cm²
評価：分光光度計

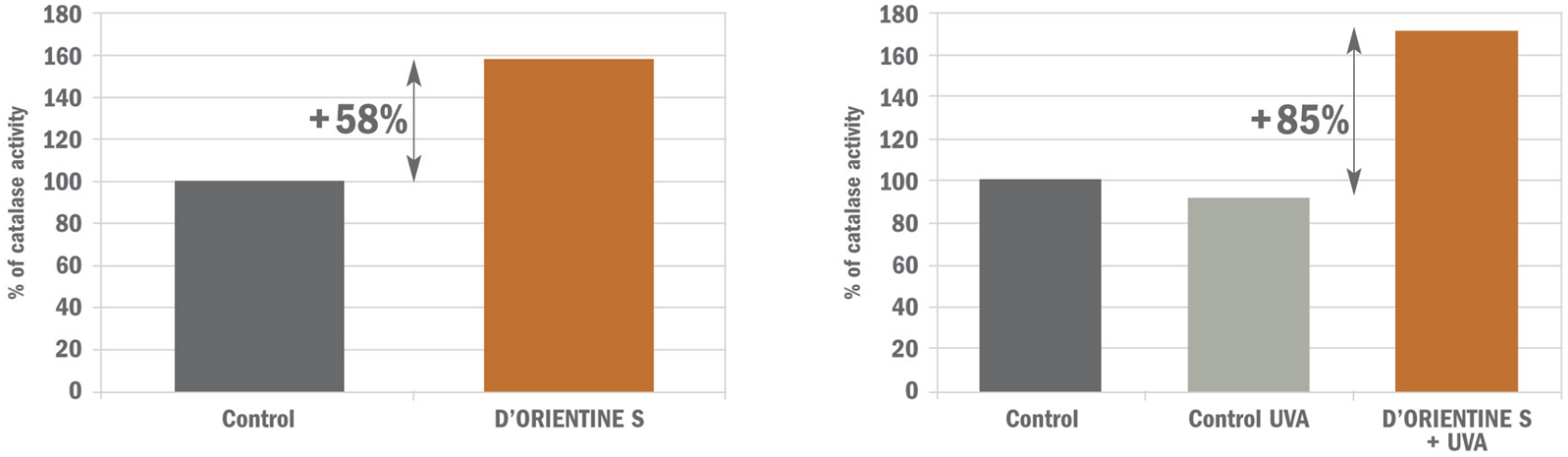




D’ OrientineはMnSOD活性、またCuZu SOD活性も高めます。（結果参照なし）

アンチ・エイジング効果 抗酸化：カタラーゼ活性

細胞培養：ヒト線維芽細胞　**塗布製品**：1%のD’ Orientine
塗布時間：24時間　**紫外線照射時間**：4J/cm²
評価：分光光度計

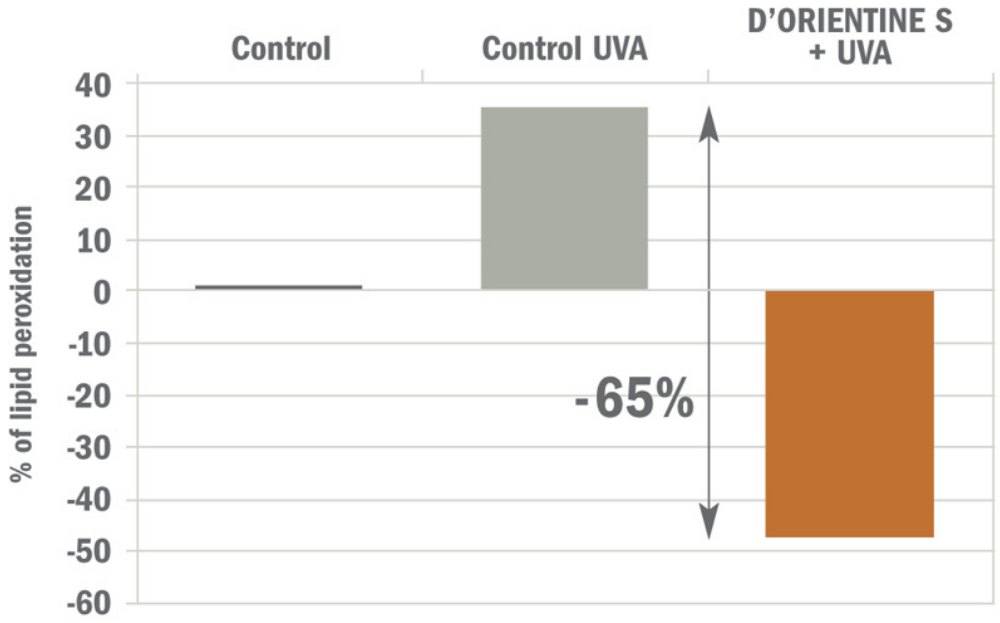


D’ Orientine Sは、カタラーゼの活性を高め、皮膚の天然抗酸化防御システムを強化します。

D'Orientine™ S

アンチ・エイジング効果　抗酸化作用：皮脂過酸化

細胞培養：ヒト線維芽細胞
塗布製品：1%のD’ Orientine S
Application time: 24 hours
塗布時間：24時間
UVA：4J/cm²
評価：分光光度計



D’ Orientine Sは有意に皮脂の過酸化、淡白のカルボニル化を減少させます。（結果参照なし）よって細胞の酸化ダメージを予防します。

D'Orientine™ S

D

技術情報

化粧品用途

- アンチ･リンクルスキンケア製品
- アンチ･エイジングスキンケア製品
- 肌をなめらかに、シワを伸ばす効果を持つ製品



推奨濃度：1-2.5%、2.5%にて臨床試験済

問い合わせ先

アイエスピー・ジャパン株式会社
パーソナルケア部

〒104-0033
東京都中央区新川1－16－14
TEL: 03-5566-8705
FAX: 03-5566-8682
E-mail:skamamoto@ispcorp.com
URL (日本語)：http://www.ispjapan.co.jp
処方掲載サイト:
http://www.cosmeticinfo.jp/form/result.php?preparer_id=246